

もっと知りたいですか？

喜んでお伝えしましょう。

ロンドンSW1A2HB
ホワイトホール本館
ACPR（中央）ルーム0370
国防省
まで郵便で

あるいは
01-218-2125 / 3538
まで電話で

問合せの際は、このリーフレット名を明記のこと。

平和維持

西側の防衛



政府は何のために存在するのか？

確かに、我々が政府に期待する最初の義務は、我々の平和と自由を守ることである。

過去40年間の英国政府は、これを行うには強力な軍隊が必要であると考えてきた。

しかし、これらの部隊の年次予算は約180億ポンドに上る。それに値する他の多くの価値のあるプロジェクトがあるとき、我々は本当にそのだけのお金を33万人近くの男性を武装させることに費やす必要があるのか？結局のところ、ヨーロッパは40年間戦争をしていない。そして確かに誰もそれを望んでいないのに？

戦争の脅威

誰も戦争を望んでいない。それでも、我々の大半が東西の対立と不信の世界、すなわち戦争の脅威が事実である世界に生まれたという事実は残っている。ソビエト連邦とその同盟国であるワルシャワ条約機構は、西側諸国よりもはるかに強力な勢力を築いてきた。ヨーロッパだけでも、航空機の数に2倍、戦車数は3倍近く、銃の数は3倍以上である。そして、彼らのヨーロッパの核戦力は、我々の核戦力をさらに大きく上回っている。

これは、どの国も防衛のための規模をはるかに超える規模の軍事力である。それで、それは何のためか？

何がロシア人をそう行動させるのか？

チンギスカンからヒトラーまでの何世紀にもわたって、ロシア人は戦争と侵略に苦しんできた。彼らの軍隊は、第二次世界大戦の最初の6週間で、我々の軍隊が6年間で失ったよりも多くの兵士を失った。

それ以来、ソビエト連邦を運営する共産党は防衛を最優先事項としてきた。だからこそ、国富の15~16%を軍備に費やし（これは西側諸国の平均の約3倍）、西側の我々がソビエトの安全に対する脅威であると主張することで、その大規模な軍備を正当化している。



ワルシャワ条約機構の職員によって観察された、給油演習中のロシアの短距離弾道ミサイル、スカッドB。

しかし、ロシア人が自分たちを守るだけと言ったら、マルクスとレーニンの教えはどうか？ 共産主義は定められしいつの日か、世界中で勝利を収める。できれば平和的な手段で勝利すべきだが、最終的には力を排除するものではない。マルクス・レーニン主義は、今日のすべてのソビエト政策の背後にある指針となる理想であり続けており、我々はそれを決して忘れないのが賢明である。

ロシア人が戦争を恐れているなら、彼らがそれから何かを得ることができると考えている限り、戦争の正義を使うのを決して止めない。

ソビエトの奪取

ソビエト連邦は、他の民族の領土がすでにポケットに入っている最後の戦争から抜け出した唯一のヨーロッパの国として、登場した。併合はヒトラーとの1939年の契約で始まり、戦争中とその後も続いた。18万平方マイルのヨーロッパと9千万人の非ロシア人の家をソビエト支配下に置き、ソビエト連邦の軍政国境地帯を、その実際の国境から西に600マイルほど押し上げた。

そして、ソビエトが軍事力を行使したのは戦時だけではない。彼らの軍事力は、50年代にハンガリー動乱を鎮圧し、60年代にチェコ人を鎮圧し、70年代にアフガニスタンを侵略した。そして80年代に、連帯運動を抑制するようにポーランド当局を説得したのはロシア軍の脅威だった。これらの行動のすべては、初期の奪取のように、弱すぎて自分自身を守ることができないという主張に反している。

NATOの盾

ソビエト連邦が最初の原子爆弾を爆発させて核保有国になった1949年までに、英国と他の9つのヨーロッパ諸国が米国とカナダと協力して北大西洋条約機構を形成した。

今日、NATOは、集団的自衛の盾によって戦争を防ぐことを目的とした16か国の自由同盟であり、加盟国一国への攻撃はすべての加盟国への攻撃と見なすことを明確にしている。

ソビエト戦車



同盟は、デュアルアプローチによって平和を維持するよう努めている。そのアプローチの1番目の要素は、抑止力である。ワルシャワ条約機構と完全に同じである必要はないが、西側への攻撃は非常に危険で価値がないことを示すのに十分な力を維持することである。そして2番目の要素は双方のバランスの取れた検証可能な軍備削減に関する合意を常に推進する。

デュアルアプローチ：

NAIOの抑止戦略は、通常兵器と核兵器型の様々な軍事力を持ち、あらゆる攻撃に適切な方法で対応できる柔軟な対応に基づく。

過去40年間、あらゆる政治的色彩の西側政府は、核兵器が抑止の本質的な部分だと判断してきた。NATOが核兵器を放棄するという一方的な決定を下した場合、または我々が最初に核兵器を使用しないと約束したとしても、ロシア人が、核兵器や化学兵器にも支えられた、彼らのはるかに大きな通常戦力で我々を圧倒できると考えないようにするにはどうすればよいか？

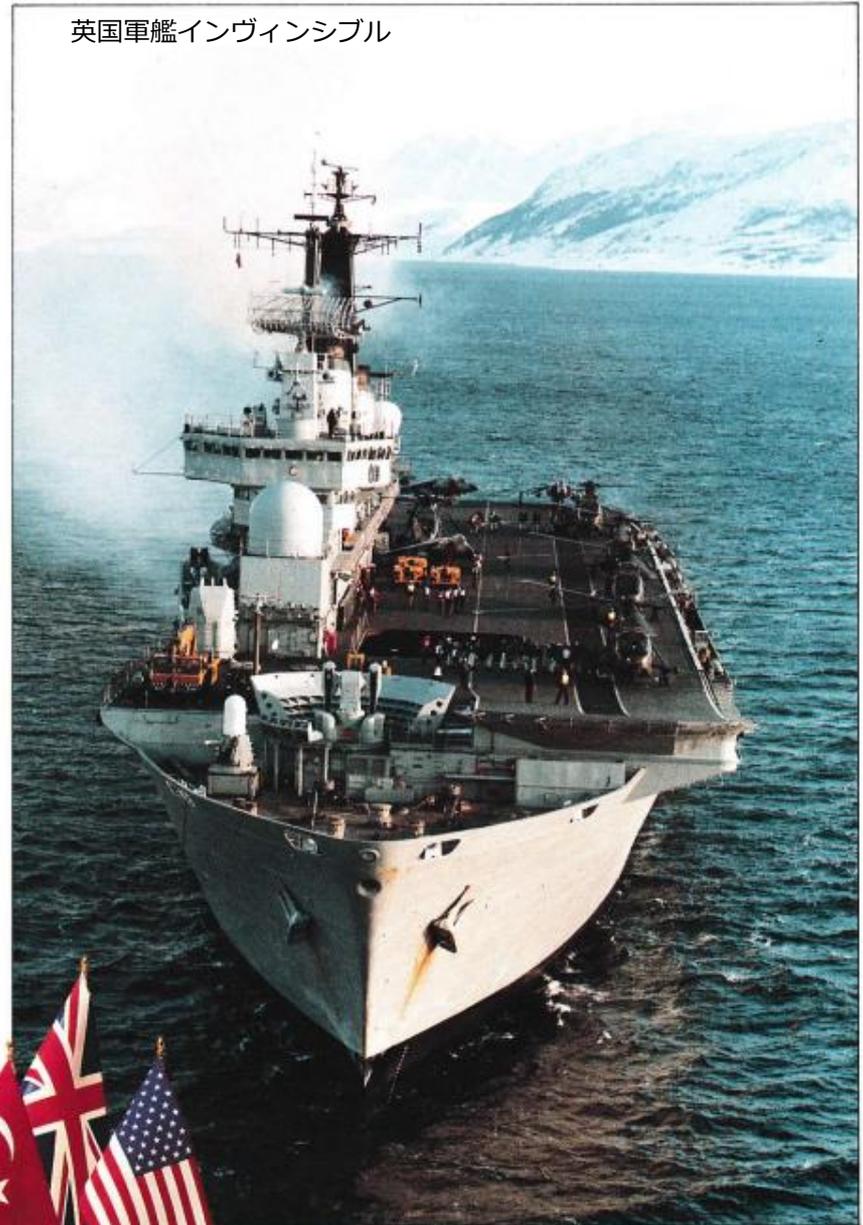
いずれにせよ、ワルシャワ条約機構に核兵器がある限り、NATOも保有しなければならない。核兵器による報復がないなら、世界で最高の通常兵器では、核攻撃で我々を脅かすことができる敵に対しては役に立たないだろう。

NATOは、とにかくこの点以上の約束をしている。攻撃への対応を除いて、核兵器または通常兵器を使用しないと何度も言明している。

NATO加盟国の国旗



英国軍艦インヴィンシブル



NATOの戦略はまた、前方展開に基づいている - 起こった瞬間にどんな攻撃にも対応するためにヨーロッパで軍隊を前方展開し、迅速な援軍を立ち上げの準備ができています。したがって、前方展開は、イギリス、アメリカ、および他の連合軍の軍人男女が西ドイツに駐留している理由である。

デュアルアプローチ：軍備管理

一方、私たちの軍隊の存在そのものが、ロシアが軍備削減交渉を真剣に受け止めることに拍車をかけています。彼らの記録が示すように、彼らは弱者と交渉することをわざわざするつもりのない頭の固い人々である。

交渉は20年以上もの間、公式非公式を問わず行われてきた。交渉は遅い。交渉は劇的ではない。おそらく、大きなジェスチャーを思い付くことができるか？ ソビエト連邦に我々が本当に進歩を望んでいることを示すためにいくつかの問題について譲歩するか？

その答えは直接得られました。ゴルバチョフの前任者であるアンドロポフは、1982年に言った。「我々の一方的な軍縮を誰も期待しないでほしい。我々はナイーブではない。我々は西側による一方的な軍縮も要求しない。我々は平等である。」ロシア語では、無からは何も得られない。すべての譲歩にはその代償があり、バランスの取れた合意が最重要点である。

実際、何年にもわたり、健全な数のバランスの取れた軍備管理協定が締結されており、その結果、世界はより安全な場所となっている。

軍備管理交渉

米国とソビエト連邦は世界の核兵器の95%を所有しているので、ジュネーブでの核・宇宙交渉に関与する2つの大国である。

それらの会談でアメリカを支援するだけでなく。英国は他の多くの分野にも直接参加している。たとえば、ジュネーブ軍縮会議では、化学兵器の世界的な禁止を推進する上で主導的な役割を果たしている。ウィーンでの相互および均衡軍縮協議、ウィーンフォローアップ会議、欧州における安全保障と協力に関する会議の報告なのである。



ウィーン会議のテーブル

そして、西側は一連の提案をした-アメリカとソビエトの大陸間ミサイルと爆撃機の50%削減、中距離核兵器に関する合意、および化学兵器禁止-これは実際には、より低いレベルの部隊での無差別の安全の見通しを提示するものである。

約束の遵守

ある国がより低いレベルの部隊を保護を約束することは一つのことである。

その約束を守っていることを証明することはまったくのご別物であるし。たがって、たとえば、兵器が見えないところに備蓄されているだけではないことをだましている人がいないことをしないために軍備管理協定を検証できない限り、そもそも署名しない。

しかし、ソビエト連邦は、訪問する蝶さん官を歓迎しない閉鎖的な社会である。

つまり、適切な軍備管理の検証を行うには、疑惑と不信の古くからの障壁に立ち向かう必要がある。そして、これが軍縮交渉がそのような忍耐と苦勞を伴う事業である。

英国とNATO

NATOは、英国の貢献がなければ、劇的に、おそらく致命的に弱体化するだろうと言っても過言ではない。志願兵で構成された、我々の軍隊は、ほとんどが同盟にコミットしており、我々が軍に費やす年間国防予算の95%がそうである。それらには4つの主な役割がある：

- 我々の戦略抑止力（ポラリス）を含む核戦力
- 戦争の際の重要なNATO基地である英国の防衛
- ヨーロッパに拠点を置く陸軍と空軍
- そして東大西洋とイギリス海峡を通るNATOの補給線を防衛する海軍

そしてそれには、雪中戦の訓練を受けている英国海兵隊のような、NATOの側面を守るのを助けるための専門部隊を含めていない。

英国の独立した抑止力

1985年のギャラップ世論調査で、3人のうちの2人が、英国の独立した抑止力であるポラリス潜水艦システムを更新すべきだと回答した。ポラリス潜水艦は現在20年近く経過している（一部の潜水艦は乗組員より高齢である）。そして1990年代にそれらの耐用年数の終わりに近づく。

潜水艦発射抑止力の特別な価値は、ロシア人がそれがどこにあるかを知らないということである。NATOへの攻撃を計画している侵略者は、我々がいかなる力で報復するためにそれらを使用することを防ぐのに十分な我々の陸上兵器を特定して破壊することを計算するかもしれない。しかし、侵略者はまた、深海のどこかを潜航する単一のポラリス潜水艦でさえ、絶望的に受け入れられないほどの規模で、彼らの故郷に破壊をもたらす可能性があることも知っている。



北極でのNATO演習中の英国海兵隊

トライデントシステム

したがって、英国の抑止力の更新は、大幅に改善されたソビエトの探知システムに直面して、今後数十年にわたって探知されない可能性のある更新を必要とする。これを行うには、より広い海域とより深い水域での作戦を可能するために、より長距離のミサイルが必要である。ポラリスが就役したときには存在しなかったロシアのミサイル防衛システムの進歩を克服するためにも、それらはより洗練されたミサイルでなければならない。トライデントD5は、これらのニーズを満たすための最小限の抑止力である。それは利用可能であり、我々の防衛予算の平均3%であり、金額に見合う価値がある。



トライデントミサイル潜水艦、英国海軍ヴァンガードの画家のイメージ画

ポラリスと同様に、NATOにコミットするが、それを使用する決定は完全に英国政府に委ねられる。これは、攻撃者の可能性のある計算を複雑にする。ホワイトハウスだけでなく、ダウニング街の反応も考慮に入れる必要がある。これは、英国の独立した抑止力にとって常に強力なプラスポイントである、不確実性の増大である。

英国の巡航ミサイル

英国はまた、米国の核戦力と通常戦力のためにこの国に基地を提供し、NATOに貢献している。

1977年、ソビエト連邦は、西ヨーロッパ中の標的を攻撃できる3つの核弾頭を備えた最新のSS-20ミサイルシステムの大量生産を開始した。

新たな脅威に対応して中距離核戦力を近代化するため、NATOは1979年に地上発射巡航ミサイルとパーシングIIのヨーロッパ配備を決定した。ロシア人は我々がこれを行うと、軍縮交渉から離脱すると脅した。

NATOは恐喝を拒絶し、配備を進めた。これにはバークシャーのグリーンハムコモンへの巡航ミサイルの到着が含まれていた。ロシア人は正式にジュネーブを出て行った。

しかしその後、巡航ミサイルとパーシングを新しいヨーロッパの基地で確立された事実として、ソビエトの代表団は交渉を続けるために戻ってきた。…彼らは彼らのように我々が軍隊を近代化しないように我々に圧力をかけようとするが、彼らは軍事を尊重し、それを保持する人々と交渉することをもう一度証明した。

なぜアメリカ人はここにいるのか？

実際、アメリカの兵器は巡航ミサイルが到着する前に何年もの間英国に拠点を置いていた。

ヨーロッパの米軍（彼らと一緒に来た家族を含めると約50万人）は、ヨーロッパの同盟国の軍隊が北アメリカと彼ら自身の防衛に役立つのと同じように、ヨーロッパの防衛に対するアメリカのコミットメントの最も明確な証拠である。

英国で非番のアメリカの空軍兵



モスクワ赤の広場でのメーデーのパレード

英国における米国の基地の運用上の使用は、英国政府と米国政府の間の共同決定の問題である。そして、首相が少し前に言ったように、「英国の首相の同意なしに、核兵器が英国の領土から発射されたりすることはないだろう」。

ソビエト連邦は変わるか？

ゴルバチョフは大きな変化としてやって来た-愛想がよく、笑顔で、クレムリンの前任者よりもはるかに若く、より外向的である。しかし、そのリーダーが行き来している間、ソビエト連邦の共産党が引き続き責任を負っている。ゴルバチョフは彼の演説のいくつかを和らげたかもしれないが、彼の発言は党の理想への党のコミットメントに本当の変化を示すものではない。

そして、それらはマルクスとレーニンの理想である。彼らは共産主義体制の世界的な勝利を説き、それを達成するための軍事力の行使を最終的に排除するものではない。

しかし、核兵器の世界では、ロシア人が世界支配や不可避の戦争の概念を徐々に放棄している兆候がある。そして確かに、その決定において主要な役割を果たしたのは、抑止戦略と平和的交渉というNATOのデュアルアプローチである。

我々は、希望に満ちた変化の兆候を歓迎する準備をし続けなければならない。しかし、警戒を下げることは変化を妨げるのであって、それを推進するのではないことを認識しなければならない。

それは矛盾だが、事実である。ロシア人が軍縮と平和について交渉するよう説得されるのは、同盟の武装と戦争準備によるものしかない

。

1987に情報中央局により国防省のために制作
印刷局のために英国で印刷。 Dd 8935300 R0737

